

2026年度 慶應義塾大学 環境情報学部 一般選抜 小論文
出題意図

冒頭に、「環境情報学部が期待する学生」という学部長メッセージを掲載し、これを踏まえて、地球環境や自然環境、自分の周囲を取り巻く様々な環境と人の相互作用を考えてもらう問題構成としました。

掲載資料として、人を含む生物と環境の相互作用、相互の影響を媒介する情報、異なるものの共生、および境界の重要性等について考えさせる文章5点(A~E)を用意しました。

問1は、受験生の読解力、論旨把握・要約力を確認する問題です。

問1(1)では、文章A~Eの各論旨を把握して短文に要約する力を確認しています。

問1(2)は、ここから3つの文章を選択し、各文章が読者に示そうとしていることを、模式図や概略図として図示する力を試しています。

問2は、取り組むべき重要な問題(イシュー)について、論述する設問です。解答にあたっては、学部長メッセージやA~Eの文章を踏まえて、「何に答えを出す必要があるのか」を思考することを求めています。

問2(1)は問題設定、すなわち各自が重要と考えている問題の所在とその構造を洞察して示すことを求めています。

問2(2)は、(1)で挙げた問題の解決策(解決につながるソリューションの1つ)の構想力を確認するものです。